

医学部

低侵襲な内視鏡下耳科手術を 山形から世界へ発信

中耳疾患に対する手術治療は、耳の後ろを大きく切って骨を削りながら操作を行う顕微鏡手術が標準ですが、山形大学では耳の穴から内視鏡の拡大した視野で操作を行う低侵襲手術【経外耳道的内視鏡下耳科手術:TEES】を開発し、国内外に先端技術を発信しています。今年の手術講習会では、7カ国から67名の医師が山形に集結し、内視鏡下耳科手術の講義・ハンズオン実習・手術見学に参加しました。

また、医工連携で開発した耳科手術トレーニング用の側頭骨3Dモデルは国内外で市販化され、ドイツ国立ハンブルク大学の手術講習会でもYamagata modelとして利用されています。



Yamagata modelを用いたドイツ、ハンブルク大学の手術講習会(2024年11月)



経外耳道的内視鏡下耳科手術 Transcanal endoscopic ear surgery: TEES

日々新しい発見と挑戦がある場所

臨床実習を通じて、患者さんの人生を彩り支える耳鼻咽喉科・頭頸部外科に興味を持つようになりました。学会やセミナーで全国や海外の先生方からお話を伺う機会にも恵まれ、日々新しい経験に目を輝かせています。自分の興味を大切にしながら、いろいろなことにチャレンジできる環境がとても魅力的だと思います。



医学部医学科

6年

鶴見桃子さん